

# 7.26 Renewal



THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM

2016年7月26日火、  
北海道大学総合博物館  
が生まれ変わります。



# 北海道大学総合博物館、2016年7月26日[火]リニューアルオープン!

北海道大学には、130年以上前の札幌農学校時代から収集・保存・研究されてきた400万点にもなる標本・資料が蓄積されています。海藻や植物、海産無脊椎動物、昆虫、魚類、鳥類、哺乳類、地質(化石・鉱石・鉱物・岩石)、考古、歴史など、その分野は多岐にわたり、新種の発見・認定の基礎となる約13,000点の貴重なタイプ標本も含まれています。2016年7月26日、リニューアルオープンする北海道大学総合博物館では、これらの標本・資料とその研究成果を紹介する展示を充実させ、北海道大学の12学部を紹介する展示や博物館活動のバックヤードをご覧いただくミュージアムラボも新設します。そして、カフェやショップ、多目的スペースを設け、市民の皆様これまで以上に親しまれる場所となることを目指しています。



①

## ◎総合博物館の歴史

1876年に札幌農学校として創設された北海道大学。北海道大学の研究と教育を市民の皆様にご覧いただくために、総合博物館は1999年に創設されました。建物は、北大で最初の大規模な鉄筋コンクリート造建築物であり、その魅力は、入り口のアーチ、玄関、階段、アインシュタインドームなど各所に見出されます。函館キャンパスには分館として水産科学館があります。



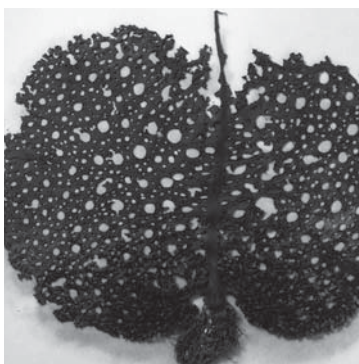
②

## ◎学術資料の展示 (3階)

地質学分野、生物分類学分野、考古学分野、科学技術史分野、医学分野について、研究の対象であり研究の材料である学術資料を多数紹介します。化石・鉱石・鉱物・岩石、植物と昆虫、ムラージュ(ロウ製皮膚病模型)など、標本・資料が訴える力を直に感じていただきます。

## ◎12学部の展示 (1階・2階)

総合大学である北海道大学には12の学部があります。文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、農学部、獣医学部、水産学部です。それぞれの学部が目指している教育、教育課程、学生像、歴史を紹介し、最新の一手押し研究を解説します。



③

## ◎大学史の展示 (1階)

北海道大学の前身である札幌農学校以来の本学の歴史と現況を展示しています。また、開学以来受け継がれている実学の精神を紹介します。2010年のノーベル化学賞を受賞した鈴木章名誉教授の研究を紹介する記念展示室もあります。



④



⑤

## ◎ミュージアムラボ (1階)

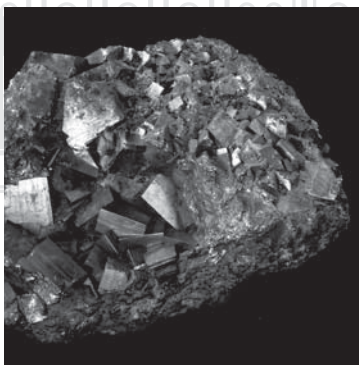
博物館のバックヤードでは、研究者が研究に従事し、ボランティアが資料整理などに協力しています。博物館のバックヤードの一部として、化石・考古・地球科学分野のラボの様子をご覧いただけるミュージアムラボを新設します。さまざまな人が博物館活動を支えていることを実感していただきたいと願っています。



⑥

## ◎知の交差点 (1階)

総合博物館では、市民の皆様を対象としたセミナーや講座を開催しています。また、ミュージアムマイスター認定コースで学ぶ本学学生や、標本整理や展示解説等に協力するボランティアなど、多くの人が活躍し、集う場所です。学生企画のワークショップやサイエンスカフェ、4Dシアターを開催する多目的スペース、新たなオリジナルグッズも販売するミュージアムショップで、新しい出会いを創っていきます。



⑦

- ① ウマ
- ② オオハナウド
- ③ テウリアナム、タイプ標本
- ④ 松村コレクション：昆虫綱鱗翅目キシタアゲハ類
- ⑤ 香深井1遺跡出土のオホツク式土器
- ⑥ デスモステルス
- ⑦ 黄鉄鉱

※掲載されているコレクションは、展示されない場合もございます。ご了承ください。

## リニューアルオープン記念展示 「ランの王国」展 開催

2016年8月5日(金)～9月25日(日)

ラン科は陸上植物の3大科の一つとされ、2万種にも及ぶ多種多様性を誇っています。ラン科の特徴、多様性と分類体系、人間文化との関わり、花と昆虫との共進化、生物間相互作用などを分かりやすく説明します。



パフィオペディラム *Paphiopedilum*

